

議員定数に関するパブリックコメントに対するご意見一覧表

○意見募集期間

平成30年7月23日(月)～平成30年8月22日(水)

○意見提出件数

106件(持参10件・郵送69件・FAX15件・ホームページ12件)

○伺ったご意見の内容

問1：生駒市議会の活動(市民意見を把握し市政に反映すること、行財政が適正に運営されているか監視すること、政策を立案すること)に満足されていますか。

1. 満足 2. やや満足 3. 不満 4. やや不満 5. わからない

問2：上記の選択肢を選んだ理由をご記入ください。

問3：現在の生駒市議会の議員定数(現在24人)を変えるべきだと思いますか。

1. 増員すべき 2. 現状維持 3. 削減すべき 4. わからない

問4：上記の選択肢を選んだ理由をご記入ください。

○問1、問3に対する回答結果集計表

問2 \ 問4	1.増員すべき	2.現状維持	3.削減すべき	4.わからない	合計
1. 満足	1	0	0	0	1
2. やや満足	0	5	5	0	10
3. 不満	0	6	73	0	79
4. やや不満	0	4	9	0	13
5. わからない	0	0	2	1	3
合計	1	15	89	1	106

問1: 生駒市議会の活動(市民意見を把握し市政に反映すること、行財政が適正に運営されているか監視すること、政策を立案すること)に満足されていますか。

問2: 上記の選択肢を選んだ理由をご記入ください。

問3: 現在の生駒市議会の議員定数(現在24人)を変えるべきだと思いますか。

問4: 上記の選択肢を選んだ理由をご記入ください。

NO	問1	問2	問3	問4
1	1. 満足	市民の声を精一杯、代弁していただいていると感じています。	1.増員すべき	現在、欠員が生じている状況の中では、やはり不十分と感じることもある中で、より多種多様な方に市民の代表として活動していただきたいと思っています。
2	2. やや満足	目立って特に良いこと、特に悪いことはない。	2.現状維持	①町から市に移行した1971年当時の人口が37,244人で、2018年7月1日の人口が120,244人で、当時より3.22倍に増えている。この間、議員定数はずっと24人だから、これをよく増加せずにやってきたなあ、というのは多くの市民の実感ではないか。減らすのは論外。 ②議員1人当りの人口について 2017年1月1日現在の生駒市は5,039人/議員1人。県下12市の中で多いほうから3番目。これは議員1人で、如何に多くの市民の生活を視野に入れて市政を考えなければならぬかを示すもので、多いほど議員の負担は一般的に大きくなる。どの程度が適切な人口かは、一概には言えないが、県下で3番目の大きさに注目。現行議員を減らす必要性は出てこない。 ③市議会の運営上、最低必要な議員人数はあるだろう、生駒独特の、北から南まで広範囲にわたる住民の生活状態、性別、多様な職業、広い年代層、などを考えて、万遍なく住民全体を反映できる議員人数は何か？ また各委員会には、討論にふさわしい必要人数(多様で活発な討論になるためには最低8人は必要といわれる)があるかを考えて、「委員会数×委員会討論に必要な人数」ということを考えると、現行人数を増やしてもいいくらいだ。
3	2. やや満足	市政報告会やウォッチングで、私たちの生活の場を知り、必要なことを聞いてくれたりしていただいている。	2.現状維持	より多くの人々の意見を市政に生かすためには、人口に応じた議員が必要と思う。
4	2. やや満足	市議会自体の活動については、おおむね充実していると思われるが、市への働きかけにやや弱さがあるのではないか。	2.現状維持	記入なし

NO	問1	問2	問3	問4
5	2. やや満足	議会の市民懇談会の開催や傍聴などを通しての理解の広がり	2.現状維持	<p>私の基本的な態度は「議会定数は削減すべきではない」ということです。</p> <p>1、まず、この問題で市議会が、簡単に結論を出すのではなく、特別委員会設置し、市の現状調査などを踏まえて継続的に審議、研究者を招いて研修、また、8月19日(日)には市民懇談会を開催するなど、問題に正面から取り組んでおられることに敬意を現したいと思います。</p> <p>2、地方議会の役割は、その自治体の特徴を踏まえて、住民の生活と福祉を守ることだとされています。選出された住民と密接につながり、知恵を出し合う場であろうと思います。</p> <p>「居眠り議員がいる」「年間一度も質問に立つことがない議員も」「頼んでも仕事をしてくれない」「税金の無駄遣いだ。だから少数精鋭の議員がいればいい」</p> <p>最近では耳にすることは少なくなりました。個人的には傍聴を何度か経験し、議員は熱心で、よく調査もし、専門性の高い論議をしていると感じていますが、上のような声は、今でもしばしば聞くのが現状です。しかし、これらの声は、住民が選出して、生活の方向を決めてもらう代議制の本質を壊していくものに外なりません。議会制民主主義の基本に則って、議員が先駆的に努力し、また、住民が見守り、意見を提出し、議員がそれに答えるなど双方向の努力でよりよい生駒市を創り出すことこそ求められていると考えます。「ポスト真実」現象が世界でも日本でも広がっている現況の中で特段の留意と努力が必要なのではないでしょうか。</p> <p>3、生駒市は市政施行以来議員定数は24、数倍の人口を持つに至った現在も同数。市議会7月23日付け資料によっても同規模の他自治体に比べて、決して多くないことが見てとれます。人口が減少傾向と予測されているものの、定員削減が現在の課題とは決して言えないのではないのでしょうか。</p> <p>4、現在委員会は次のような構成になっています。 議会運営委員会 10人 広報広聴委員会 10人 災害対策委員会 10人 常任委員会 企画総務委員会 6人 市民文教委員会 6人 厚生消防委員会 6人 都市建設委員会 5人 予算委員会 22人 特別委員会 議員定数委員会 8人 総合計画特別委員会 8人</p> <p>①市議会資料から常任委員会は広瀬克哉法政大学副学長が指摘している8人以上という数を満たしていません。</p> <p>②常任委員会構成は複数の課題を一つにしており、専門的な検討を進めるためには問題があるのではないのでしょうか。数度の委員会傍聴の経験を通しての感想で、断定するだけの確信はないのですが……。19日の皆さんの意見を参考にしたいと思います。</p> <p>4、私は 高齢者の交通費助成問題、鉄道駅と地域のバリアフリー化の問題などを通して多くの議員の方々と意見交換をする機会をもつことができました、議会が、行政の方針に対して積極的な対応で改善が図られた内容もありました。格差社会が進行していて、将来への不安は募るばかりです。定員削減とかではなく、今後とも。住民としっかり結びついて、暮らしに展望がもてるように一層の努力をお願いしたいと思います。</p>

NO	問1	問2	問3	問4
6	2. やや満足	<p>・ごみ有料化で大型ごみとして出す時は、袋からはみだすため、これまで300円の処理券を貼っていた。市民からの改善を求める声が、市政に反映され4月から改善されたこと。</p> <p>・高齢者の免許証返納が言われていますが、これらを進めていくためにも市民の足の確保が求められています。コミュニティバスの充実やデマンドタクシーの導入など市議会としても実現に取り組んでいただきたい。</p>	2.現状維持	<p>人口3万人でスタートした生駒市である。その当時から議員定数24人のままで今日に来ている。市民の多様な思い意見をまた、行財政がきちんと行われているか、姿勢をチェックし。市民の声を市政に反映させる役割を持っている。それぞれの委員会も含め、議論を進めていく上でも一定の議員数は必要である。減らす必要はない。</p>
7	2. やや満足	<p>私が応援している方は、普段から真面目に取り組まれているので、満足しておりますが、全体に足並みが揃えばうれしく思っております。</p>	3.削減すべき	<p>全国的に議員が減ってきてるので、少し減らしてその予算を他に使ったら良いと思います。パブリックコメントは、市民にとってわかりにくいです。</p>
8	2. やや満足	<p>市議会の方々が日頃どんな活動をされているのか見えてきません。</p>	3.削減すべき	<p>人口減少と高齢化はすでに始まっています。議会の占める機能が低下しない範囲で税金の使用を適正な方法にさせていただき、市の財政の悪化を少しでも減少し、不安のない将来が来ます様に。</p>
9	2. やや満足	<p>不満はありませんが、活動内容がわからないこともあります。</p>	3.削減すべき	<p>市民数のわりに人数が多いと思います。</p>
10	2. やや満足	<p>議員に対する生駒市民の不信感が議員削減の声になっているのでは。他の市と比較してどうかよりもっと議会の役割を果たすためどうすべきかを考えてもらいたい。</p>	3.削減すべき	<p>議員に対する生駒市民の不信感が議員削減の声になっているのでは。他の市と比較してどうかよりもっと議会の役割を果たすためどうすべきかを考えてもらいたい。</p>
11	2. やや満足	<p>生駒の広報、又市民レターなどを通じて、住みやすいまちにするための取組が色々ななされていることを知り喜んでます。大筋において満足しております。</p>	3.削減すべき	<p>他国との比較においても、議員数が多すぎると国政でも他方自治体でもよく言われております。市議会議員定員数を減らし、その予算を教育や福祉に充てて、税金をもっと有効に使っていただきたいと思っております。</p>
12	3. 不満	<p>議員定数を削減しますとどうしても市民とのパイプが細くなります。そうしますと市民の意見を把握して市政に反映することは難しくなります。</p> <p>災害大国日本です。先手に対策を取っていかなければ、後手の対応になっていきます。犠牲が出てからの対応では遅いのです。市全体に目を行き届かせていただきたいと思っております。</p>	2.現状維持	<p>せめて現状維持をお願いしたいと思います。2問の理由と同じです。</p>

NO	問1	問2	問3	問4
13	3. 不満	<ul style="list-style-type: none"> ・高山の穴あき工地に多額の市財を投入 ・保育所の増設が必要数に依じていない ・ゴミの有料化に反対。不満。こういう意見が反映されていないように思う。 	2.現状維持	本来なら、市の人口は増加しているのだから、市民の意見を正確に市議会に反映されようとする議員は増やすべきだと思う。ただ、この現状ですと、きているので少なくとも現状維持が望ましいです。
14	3. 不満	市議会の中で、市民の切実な願いに真摯に耳を傾け、改善、解決に向けてご尽力いただいている議員の方もおられ又、その反面日常生活が困難な市民の実情に無関心な議員もおられ全体として、市民生活と議会のうごきが合致しないと感じる面も多々あります。	2.現状維持	現在の生駒市(日本全体も)は市民が安心・安全に暮らすにはたくさん問題・課題があると思っています。市民生活と密に関わり、解決するための施策を市議会です十分論議し、市民合意を得るためには適正な人口比の議員が必要です。各委員会でも十分な論議をし、委員会機能を発揮するためにも現在の議員数は必要最低限だと思います。議員定数を削減する事ではなくて、議員一人一人が質を向上させ(大変失礼で申し訳ないですが)市民生活向上、市民要求に応えた市議会であって欲しいと願います。
15	3. 不満	記入なし	2.現状維持	議員定数は削減するのではなく、現状維持が良いと考えます。議会の役割は、地方自治体の意思を決めること、行政が適正に運営されているかを監視すること、住民の意思を正確に議会に反映すること、政策を立案することと考えています。議員定数は上記の役割を果たすことを基本に考えることが求められます。議員定数を考える上で、私はとくに住民の願いや状況を把握して生駒市全体見渡せることができる議員数を考えることが大切と考えます。もちろん障がい者、高齢者、LGBTなどの社会的弱者、少数者を含んだ住民の観点が必要と考えます。地方分権の時代といわれていますが政府の「三位一体の改革」は地方自治体にとってきびしいものです。これからの地方議会のあり方が問われています。「議員を削減」という声があり、私のまわりでもそのような声を聴きます。それには議会や議員の質が問われていると受けとめてほしいです。議会や議員に対する不信感を取り除くための議会改革を進めてほしいです。
16	3. 不満	傍聴した時に寝てた議員がいたから	2.現状維持	現状維持の24人でもいいので議員報酬を減らすべき仕事していない議員多すぎです。

NO	問1	問2	問3	問4
		<p>1. 市民意見の市政への反映について</p> <p>現在、議会が意思決定機関として市民意見を聴取する場合は年に1回開催されている市民懇談会のみです。</p> <p>しかし、そこでは決められたテーマの枠内で意見を出し合うことが主で、他の市政分野や議会運営について意見を述べる時間はほとんどありません。</p> <p>議会は、多様な立場から出てきた互いに異なる意見を持つ複数の議員によって構成されているとはいえ、必ず「漏れ」はあります。個々の議員に言えばいいという意見もありますが、一市民が議員にコンタクトをとるとするのは議員が思う以上にハードルが高く、会ってもらえたとしても共感し、議会で発言してくれるとは限りません。機関として、その声を捨てず議論の俎上にあげるしきみを用意する必要があります。</p> <p>また、意見を把握する時機にも問題があります。定例会は年に4回開催されておりますが、市民懇談会は年に1回です。政治は生き物です。その時機を逃してしまわないよう適切な時期に声を反映できるように開催回数を増やしていただきたいと思っております。定例会ごとに議会報告会等を開催して市民と接点を持つ議会も今は珍しくなっています。(開催しても人が集まらないことが回数を増やすことの意欲を削いでいると思われるのですが、議員全員が街頭で手分けして議会報告会のチラシを配っている議会もあり、「本気度」が足りないと思っております。)</p> <p>さらに、議案に対して市民が議会の審査前に意見を述べる機会はありません。成案に至るまでの間に行政がパブリックコメントをとる場合もありますが、行政の恣意的な判断で、その対象にしない場合も実際にあります。議案として上がってきて、初めて市民は議案を目にし、問題を感じることもありますが、請願の受付締め切りは議案説明会の前日です。意見を活かすすべがありません。会期中にも請願を受け付けられるようにしていただきたいと思っております。例えば岩倉市議会は、予算審査前に市民に議案を説明し、意見を聴く「岩倉市議会ふれあいトーク」を始めましたが、このように声を議案審査に活かせる場を用意していただきたいと思っております。</p> <p>今回、このような意見を述べる機会が設けられたことは喜ばしいことですが、定数削減の直接請求があったため、議会基本条例に則り行われたものと察します。しかし、直接請求がなくとも、議会運営に関することは、いつでも市民が気づいたときに意見できるよう、議会ホームページに意見聴取のコーナーを常設したり、議会活動の改善につなげるための議会モニター制度を創設したりするなどすれば、市民も、はじめて議会が自分たちの方を向いてくれている</p>		<p>私は、議員定数は減らすべきではない、という意見です。その理由を述べます。</p> <p>直接請求代表者の意見を録画で拝見しました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 行政側は行財政改革に努力しているのに議会はそれに協力していない。 2. 市民の意見を届ける多様なチャンネルがあるので、議員の数は減らしても問題ない。 3. 定数を減らした議会でも、市民の意見を届けられない、行政サービスが低下した等不都合、苦情もなく議会運営にも支障を来たしていない。 <p>というのが主な理由と理解しました。</p> <p>それぞれについて、私の意見を述べたいと思います。</p> <p>1. 行財政改革としての定数削減</p> <p>行政と議会の機能は異なるので、両者を同列に並べ、片方が職員を減らすからもう一方も減らしていいということにはなりません。職員の減員は、業務の民間委託、施設の指定管理化が進めることで可能になっています。しかし、それらの業務や運営が行政の手から離れたことで、目が届きにくくなり、むしろ議会は、それらが適切に執行、運営されているか、監視能力が十二分に発揮することが求められるようになりました。指定管理者制度の導入後、企画総務委員会の提案で、市民サービスの低下を招かないよう、その制御装置としてのモニタリング制度もできましたが、それでも市民サービスとは直結しない部分で指定管理者の不正は実際に起こっています。むしろ市の業務の外部委託、効率化が進めば進むほど、議会の仕事は増えるという思いも思っています。(もちろんその仕事をしているかどうかは別問題です。)</p> <p>これからの収支削減、社会保障経費の増加に備えよ、というご意見もありました。将来世代の負担を減らすという意味ではもっともなご意見ですが、単に、議会費を事業費に付け替えて済む問題ではありません。議会費にも限りがあるからです。</p> <p>議会も、もちろん行政コストと同じ意味において、コストは極力削減すべきですが、民主主義国家における公選の代表である議員の数を削ってでも行政コストをカバーせよというのは、もはやコスト論による提案ではなく、議会制民主主義そのものの否定です。それは、さきの市民懇談会の会場からの意見でも顕著でしたが、議会活動に対する不満から来ているのだと思います。議会は本来何をすべきところなのか？ 議会はどうすれば機能向上できるのか？ そのためにひとり一人の議員はどう活動すべきなのか？ という理解が、市民にも、残念ながら当の議員にも共有されていませんが、そうである限り、何人減らそうとも議会の機能不全は変わりませんし、きっと4年後も、選挙が近づけば同じ提案が出てくるでしょう。</p> <p>2. 市民の声を届けるチャンネルは整っているという意見に対して行政側はパブコメ、タウンミーティング、聞き耳ポスト、市政政策提案制度、議会側にも市民懇談会、陳情、請願等市民の声を市政に届けるツールは整っているから議員の数を減らしても大丈夫という請求代表者の意見に対しても賛同しかねます。</p> <p>議員の役割は、オモテの場であろうとウラの場であろうと市民の声を行政に届けるだけの「御用聞き」ではありません。市民の「困りごと」の原因である行政の問題を探り、解決方法を調査し、提案することです。声を届けるツールはいくらあってもそれが制度やその制度に基づく事業として市民に還元されない限り、議会の存在価値はありません。</p> <p>また、情報公開が進んでいるとも述べておいででしたが、情報開示請求した経験から言えば、少なくとも外部との交渉記録や市の意思決定については、生駒市はメモすら作成されていなかったり、作成しても行政共有文書でないという処理がなされたりすることが度々ありました。むしろ、条例は作ったけれども魂が抜けているというのが私の評価です。</p> <p>民主主義は手続きによって成立します。行政の意思形成過程を知ることができるはずの公文書は民主主義の土台ですが、それが作成されていなかったり、行政の恣意的な判断で不当に黒塗りにされたりしたら、議案審査にあたって自らの調査権が侵害された議員や、選挙によってその権限を議員に与えた市民は怒らなければならない。そういう性質のもので、その誤った運用を正すのも議員の仕事です。</p> <p>どちらも、12年前の市政と比べての評価だと思いますが、妥当な評価ではありませんし、たとえ市民の声を行政に届けるツールがあっても意思形成過程が公開されていても、議員の仕事は、その声があつて適正な手続きによって、政策や事業となっているのかチェックすることも仕事です。議員定数を減らしてよいという理由にはなりません。</p> <p>3. 定数を減らしても運営上、困らないということについて定数を減らした他市議会にもその影響を照会されたとのことです</p>

と実感できるのだと思います。

2. 議会の監視能力について
行政は、法や条例、規則等手続きに則って事務を執行することが求められますが、それらに抵触する場合、議員はそれが善意に基づくものであろうとなかろうと、政治的な立場や市長との距離に関係なく、問題を指摘し、改めさせることが必要です。監視能力とは、問題を問題と感じ、それを正せる能力だと言えるでしょう。

しかし、問題を指摘しようと思えば、法や条例の知識や読解力が求められますが、ひとりひとりの議員は必ずしも法律家ではないので限界があります。その議員個人の力の限界を補うのが議会のチームワークではないでしょうか。建築や都市整備に強い議員もいれば、介護や障害者問題に強い議員もいる。教育問題に強い議員もいれば財政問題に強い議員もいる。それぞれが大小の差はあれ、得意不得意があることは誰もが認めるところですし、そもそもの地方自治体の議員のなりたちがそうなのでからしかたがありません。けれども、その「穴」や「凸凹」を埋めるため議会が努力するのは当然すべきだと思います。

今の委員会構成は、それぞれの議員の「強み」を活かしたものにしているのでしょうか？「弱み」を補う専門的な知見を活用できていますでしょうか？

かつて生駒市議会では議員個人の一般質問が百条調査委員会の設置につながったり、専門的知見を活用した委員会調査につながったりしたこともありましたが、最近はそのようなこともなく、以前に比べ「議会」機能が落ちていると思います。

委員会は発言時間に制限がなく、自由闊達な意見の交換ができる場ですから、発言時間の制限のある一議員の一般質問であがってきた問題を委員会が引き取り議会全体で共有する、というしくみをつくれば、議会の監査能力を高めることにつながると思います。(可児市議会では、「委員長質問」を導入していますが、実は平成20年頃に生駒市議会の議会改革検討委員会でも「テーマ別調査」に関する議論の中で意見としてあがっていたものです。)

議案審査のありかたについても一言述べたいと思います。

議会が議会として存在する意義は、行政とちがってその多様性にあるということは、先の議員研修会でも講師の廣瀬克哉教授が述べておいででした。しかし、議案審査において、議員は執行部に対して質問したり、それなりに理由を述べて賛否を述べたりはするけれど、互いに異なる意見を戦わせ、つまり討議ができていません。討議のしくみはつくっていても機能していないのであれば、どうすれ

17 3. 不満

2. 現状維持

が、「それでも議会は回る」のは、会議規則に則って議事が進められている以上、当然です。

問題は、はたしてその議会に市民が満足しているか？ということだと思います。定数を減らして議員と議会の質は高まったか？市民の議会に対する信頼感はあるか？ということをお聞きすべきです。おそらく、その答えも「ノー」だと思います。上位当選する議員が資質のある議員で、下位当選や落選した議員は資質がない、とはいえないからです。上位当選の議員も下位当選の議員も同じく市民の負託を受けて当選している以上、自分は評価していただく、ほかの一定数の市民が評価したのですから、その市民の価値判断を尊重すべきです。それが民主主義というものです。もちろん、当選したからといって全権委任された市民意見を聴かなかつたり、行政の無謬性を信じて唯々諾々と賛成しているだけの何も判断しない議員では困りますが、民主主義は、そういう議員を次は選択しないという道も市民に与えています。

むしろ、これだけ民主主義の危機が叫ばれている今の時代に、議員定数こそが改革だと自分の議席を切り売りする議員が、いよいよ民主主義が消えてなくなろうとするときに、反論するすべを持たなくなるということは指摘しておきたいと思います。

以上、述べましたように、議員定数を考えるにあたっては、廣瀬教授からもご指摘がありました。議会の機能について議会のなかで合意形成をはかろうと、その機能を果たすために必要な議会としての仕事、その仕事に必要な議員の数を割り出すという積み上げ式で答えを出すべきだと考えます。

いつも改選間際になってこの定数削減の議案が出てくるので、そういった議論はできないままになっています。議会改革も、基本条例の見直しだけが義務的になんとなく回っていますが、4年間で何をすべきかというロードマップをちゃんと描いていくことも必要だと考えます。

最後に、議員の皆さんにお願いがあります。

それぞれの議員がどんな意見を持っているのか、市民からは見えない、わからないという意見が市民懇談会でも出ていました。

ぜひ、この議員定数問題を機に、「これからの議会はどうあるべきか」という点と絡めて十分に議論をし尽くして結論を出してください。また、定数問題は委員会の委員だけの問題ではありません。本会議でも、4年前のように提案者も含めて賛成討論がなかったなんていう恥ずかしいことにならないよう、全員が討論に参加していただきたいと思います。

ば機能するのか考える必要があると思います。

委員長が、委員の執行部に対する質疑を聞いて、論点を整理、提示し、他の委員にもその論点に対して意見を求めるという「捌き」をすることが必要ですが、発言者の指名をするだけであつたり、委員長と異なる意見を封じ込めようとして、ということはないでしょうか？

3. 議会の政策立案能力について
政策は、市民の「困りごと」があるのに、その「困りごと」を解決する制度が整っていないことから生まれます。政策立案能力は、まず「困りごと」を掘り起こす能力と、その「困りごと」を解決するための方策を調査し、提案する力の総合体と考えます。

ただ、さきの市民懇談会で土山希実枝教授も述べておいででしたが、限られた資源(財源)で課題を解決する必要があり、その優先順位を考えることが同時に求められます。また、提案しようとしている制度によっては、逆に不利益を被る市民も出てくる場合もあります。議員ひとりひとり、自分が取り組んでいる目の前の課題を解決することに傾注しますから、その提案の、市の施策全体のなかでの優先度や、その提案がもたらす負の面を見落としがちになります。それを指摘できるのが他の議員だと思います。一議員の提案を、他の議員も「関わる」ことで、個々の提案を、より「使える」ものにしていくことができるのだと考えます。そして、争点は、議論のなかで浮き彫りになり、よりよい「解」を見出すことができるのだと思います。

今の議会の最大の課題は、議会の存立根拠であるはずの「議論」できていないということではないでしょうか。若者が「コミュカ」を大事にし、衝突を避けるようになっていることが、権力に対する無批判、体制側への傾倒につながっているという指摘もありますが、議会までがそうでは困ります。これを機に、議会が市民の信託に応えるために、その活動はどうあるべきか、「議会のあるべき姿」を議会ですっかり議論していただけることを願います。

NO	問1	問2	問3	問4
18	3. 不満	<p>1. 政策立案への取組が不十分</p> <p>2. 市民への議会活動の説明が不十分</p> <p>3. 議員が何をしているかわからない</p> <p>4. 議員が自分自身の意見を伝えきれていない</p> <p>5. 議会改革への取組が不十分</p> <p>6. 活動する議会の姿をもっと見せてほしい</p>	3.削減すべき	<p>改定案 22名(2名削減)</p> <p>私の意見・・・生駒市議会における議員定数を是非2名削減されたい。</p> <p>意見・提出書の問4に関する理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市民の声に応える必要がある。議員定数の条例改正請求は地方自治法の規定に基づく必要数に達していること。 ● 署名はしてなくとも削減は必要と考える市民は数多く、定数は今が適切とする意見は少なく、増員する必要があるとする意見は僅少であると判断している。但し、これを立証するデータは持ち合わせていない。時に市民に声を聴いた感想である。 ● 議員定数の理論的な必要数は明らかでない。よって、24名が適正な数とは判断できず、一方2名削減が理論的に必要かどうか不明らかでない。しかし、議会運営からみて、2名削減による弊害が感じ取れない。 ● 定数削減に対する市民の声が多い理由は、現状の24名に何も拘ることはない。22名でも十分に議会活動が可能との思いがある。現在も1名欠員で障害が報告されていない。 ● 2名にせよ定数削減により議会費用の削減に繋がる。行政改革を通じて市民に一定の負担を求めている関係上、議会においてもコスト削減への貢献が必要ではないか。 ● 定数削減により議員一人一人の責任が多少でも重くなり、議員活動に緊張感を少しでも高める効果がある。 ● 法政大学の広瀬克哉教授から意見を議員が伺ったということであるが、学者の多くは定数問題、議員報酬問題については積極的な意見を持ち合わせていない。議会運営に当たっての議会改革への道には積極的な意見があるものの、本件のような事案についてしっかりとした調査研究は疎かにされているのが一般的である。その理由は、学問の範囲から逸脱した範囲であり、そのような問題は市民活動の範疇若しくは政治判断と考えられているところであろう。(なお、この広瀬教授を講師にお呼びした諸経費は生駒市の財政からの支出であるが、これは議員自らのポケットマネーで対処する必要がある。その総額は6万円程度。) ● 市民の声が市役所に届けられるのは、議員を通じての方法もあるが、今日その方法(ルート)は多岐に亘っており、議員を通じて市民の意見が市政に届く方式以外のルートが整備されている。タウンミーティング、自治会ルート、市長に対するメール、市役所の窓口での要望など多数準備されている。また、議員が特定の人たちの声を市役所に届ける方法は、利益誘導の懸念が生じ、特に慎重に対処する必要性がある。 ● 2名にせよ議員定数削減により、選挙に当たって、少しでも市民の支持を受けた候補者が議員に当選できることに繋がる。前回の平成27年の選挙結果から見て、24位の得票数は1,150票であった。22名であれば、1,244票となり94票増加する。少しでも市民の支持数が増加するのがいい。 ● 他の自治体でほぼ同規模の状況をみれば、22名以下の自治体は数多い。議員数が少ないため、増加させようとする動きは聞いたことがない。一方、議員数の削減を求める市民の声は全国各地で起こっている。 ● 生駒市より同規模自治体で議員定数が多い自治体も多くある。それぞれの自治体の事情によるものであり、また議員報酬の水準とも関係する。単に他の自治体と比較することで生駒市が必ずしも多くないとする考えには納得できない。 ● 奈良県の近隣の自治体で議員定数を行った自治体において、定数削減により議会機能が低下し困ったことになったという話はないという。 ● 今回の提言は、22名への削減案であるが、もつと少なくともいいとする考えがある。 ● 議員数が多いほど市民の声を反映でき、また、多くの議員がいるほど多様な意見が交わされるとする意見があるようである。そういう面を特に否定しないが、各議員がしっかりと市民の声を幅広く聞き、行政への取組も多面的に考えるようにすれば対応できる。これをもつて数が必要とする意見に結び付けるのは、議員の資質の問題につながりかねない。また、現状の24名であれば上記のことが可能で22名になれば、上記の件が難しくなることは検証されていないし、検証もできない。議員一人一人の見識の向上に期待したい。

- | | | | |
|--|--|--|--|
| | | | <ul style="list-style-type: none">● 生駒市での議員定数問題は6年程度前から起きている。しかし、現状維持が続いている。その間、近隣の自治体だけでなく全国各自治体でもその動きは報告されている。生駒市においてもこの問題に終止符を打つためにもここで2名削減を決断されるのがいい。そのことによって生駒市議会に対して市民は好感度を示すものとする。● 今回のパブコメを求めるに当たって、各種資料が準備されている。議員一人当たりの人口、面積、基準財政需要額の数値が示されています。この数値は、この定数問題とほとんど関係ない事案と思われます。そのデータの持つ意味を説明なしに示す方式は適切ではありません。また地方分権関係なり、生駒市の議会改革への取組のレポートもそれをもって何を市民に伝えたいのかの説明がない。もっと、説明する必要があります。● 今回の条例改正が否決されるようなことになれば、市民は生駒市議会に対して落胆の様相になります。今でさえ、市議会に対して市民の一部(多くは無関派のように思います)は、必ずしも信頼関係をもって尊敬の眼で評価しているとは思いませんが、これに輪をかけることに繋がるものと危惧しています。● この定数問題で特別委員会の様子をインターネット中継で拝見しました。質疑がほとんどありません。もっと喧々譁々の議論があつてしかるべきと思いますが、その風景には失望しました。 |
|--|--|--|--|

NO	問1	問2	問3	問4
19	3. 不満	<p>私の居住地の近隣に数名の市会議員が居住しているが、どのような活動をしているか全く見えない。議会では市民の声を市政に反映させると発言しているが空虚に聞こえる。</p> <p>私の知人、友人達も異口同音である。このことも含めて議会、議員と市民との意見交換の場が少なすぎると言わざるを得ない。市民懇談会が一年に一回開催されているが、内容に乏しく参加する気にもなれない。市民の声を聞いたとポーズを示しているだけである。全く市民をバカにしているといわざるを得ない。「何をするため議員になったのか」「議員になって何をしたいのか」「議員を目指した当初の志をもう一度思い直してもらいたい。そして、真摯に「議員とは何ぞや?」と自分自身と向き合ってもらいたい。</p>	3.削減すべき	<p>①平成19年4月の市議会議員選挙において投票日当日逮捕された元市議会議員の酒井氏は、約2年本会議をはじめ所属の常任委員会及び各委員会を欠席した。常任委員会では1名減員の5で運営し何ら支障なかった。つまり現行の常任委員会は4であり4×5=20議員定数20で充分機能を果たしているという証左である。結論として、議員定数は20人で充分ということになる。又当該常任委員でなくても委員外委員として質疑に参加できる。他の委員会においても同様である。従って、議員定数が削減されても議員、市民の意見は充分反映される。</p> <p>1常任委員会を6人以上にする必要があれば、現行の4常任委員会を3にすれば良い。</p> <p>3×6人=18人となる。以上の理由により議員削減は可能と判断する。</p>
20	3. 不満	市民意見を把握する事に対しては、充分ではないと考えています。	3.削減すべき	人口規模でいえば大和郡山市は約9万人、生駒市は12万人ですが、大和郡山市は平成27年に議員自らの提案で条例改正案を出し定数を22名から20名にしています。平成31年からの実施です。生駒市は人口9万人の時も24名です。12万人ではそのままでも妥当かとも思われますが、これからは人口減少に向かっていきます。ぜひ2名減を実現してほしいです。
21	3. 不満	高山地区開発等予定どおり行なわれていない。もっと仕事に熱意をもって行動してほしい。	3.削減すべき	現在の活動状況から、情報収集(土地売買)のために、市会議員に立候補する声がよく聞かれる。特に市役所内の男性の対応がぶっきらぼうで、親切さを感じられない。市議会も同様。
22	3. 不満	現在、年1回開かれている市民懇談会のあり方に不満を持っています。今のやり方では、充分市民の意見を聞いているとはいえない。(テーマを市議で決定している。)	3.削減すべき	市制が始まって以来、24名の定員のままできていて、この度2名の欠員があつたにもかかわらず不都合なかつた。それならば、22名定員でも良いのではないかと。
23	3. 不満	現在の市議会から依然として、市民のためには生駒市をどの方向にもって行くのか我々市民には全く伝わって来ない。山下氏が市長になってから、市政改革も進み、市民病院も出来て随分良くなったように思いますが、問題はある。人口減少や空き家が増える一方なのに、街中の樹木を伐採して細切れの家がどんどん建っている。緑豊かで住みよいまちにするビジョンはどうなっているのか。	3.削減すべき	これからは市の財政も厳しくなっていくのは明らかだ。現在市議の多くは議員定数を削減すべきに反対しているらしい。その多くの議員達はいかに議員としての自信がないのか、それとも議員を削減してその分の税金を市のため、市民のために使おうという気持ちを持っていないのか。市政に関心が薄かった私達も悪いが、こんな市議が多いことに失望と悲しみでいっぱいだ。しかし、一部の議員さん達が無駄を失くし、今後の市の将来を見据えて議員の削減に奔走してくれていることに感謝したい。

NO	問1	問2	問3	問4
24	3. 不満	もう少し色々な勉強をしてよい提案をしてほしいものである。これという新しい内容の提案はない。事務局のあげてきたものに対するものに、イエス・ノーだけでは、あまり意見としては十分ではないように思うし、新しいこと提案されてもいない。	3.削減すべき	今現在、何人かの議員が入院などで欠員であるが、問題なくいけているのではないかと考えている。ある元市議会議員はいついた。本当に真剣に取り組んでいけば今の議員数ではたりないと、本来はそうであると思う。また違う元議員は、議会で発言する人間は限られていて、他は眠っているか、ほとんど出席している程度であまり活動していないということである。これは、質の問題であり、数の問題でない。資料を見る限り、多くもなく、少くなくもないといっている。質からいうと少なくない、数として数えると多いということではないかと思う。これを用いて議論してもあまり意味がない。本来なら市民がその人を吟味して、市議会議員を選らばなければならないはずだが、それ以外の要因でそうになっていない。そういったことで、こんな人に税金をはらうのかという人も議員をしているのだから、一度人数を少なくしてやってみてはどうか。
25	3. 不満	1. 議員特権の復活を求める議員が多い。 ※2016年12月議会 賛成17: 反対6 可決 2. 議員報酬が高すぎるとの批判を受けて削減した報酬を理由・根拠なく数回に渡り引き上げ市民のことより自らの待遇改善を優先する議会 ※2017年12月議会 賛成13: 反対9 可決	3.削減すべき	市制施行初頭より24人を維持しているが、今日人口減少、高齢化に伴い税収が減り社会保障費が増える中、議員定数削減は当然行うべき。 市職員の削減、市民に家庭ごみの有料化、交通費助成制度の見直し等負担やサービス低下を招く施策も実施される中当然です。 “4人削減” 県内の他市 2008年と現在の比較 削減人数 香芝市20人→16人4人削減 大和郡山市24人→20人4人削減(平成31年から) 橿原市26人→24人2人削減 葛城市18人→15人3人削減 奈良市46人→39人7人削減 宇陀市22人→14人8人削減 天理市20人→18人2人削減 生駒市24人→24人削減なし
26	3. 不満	1. 議員特権の復活を求める議員が多い。 2. 議員報酬が高すぎるとの批判を受けて削減した報酬を理由・根拠なく数回に渡り引き上げ市民のことより自らの待遇改善を優先する議会。	3.削減すべき	市制施行当初より24人を維持しています。今日人口減少・高齢化に伴い税収が減り、社会保障費が増える中議員定数削減は、当然行うべき。(最低2人)
27	3. 不満	・議員は基本的には、市民のためにボランティア精神でやって欲しい。 ・高齢者の福祉を削減し、自分達の報酬を上げた的確な説明がわからない。上げる理由がわからない。	3.削減すべき	市民に負担を強いるなら、自分たちも身を切って欲しい。自分たちだけが良い思いをしている感じがする。
28	3. 不満	・議員1人1人にどの様な行政に対する仕事をされていますか。 ・議員が年間稼働日数で1日何時間稼働されていますか。疑問です。 ・議員に対する問題の決議を議員で決めるのがおかしい。市民で決めることが必要。 ・議員が日々活動されている内訳が不明である。 ・議員出張が個人旅行になっている。内容を具体的に市政にどの様に反映されたか市民に報告するべき。	3.削減すべき	・市民に対する24人の必要性がない。(議員がどれだけ1日の仕事をされていますか。) ・議員定数は、議員で決めるのではなく市民が決めるべきである。 ・議員定数を住民投票で決めるべきです。
29	3. 不満	資料も市民が理解しやすいものとしてほしい。市民の声をもっと聞いてほしい。	3.削減すべき	奈良県下の他自治体も定数を減らしていると聞く。生駒市も諸事情を考え減らしてもやっていけないのではないか。
30	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
31	3. 不満	市民の意見を軽んじている	3.削減すべき	議員数が多すぎる
32	3. 不満	市の決定が遅い	3.削減すべき	発言されない人もいる
33	3. 不満	私たちの意見が伝わっていない	3.削減すべき	多いと思う。

NO	問1	問2	問3	問4
34	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
35	3. 不満	選挙の時だけ、市民の方を向いているように主張している。市議会議員に当選したら市民の声はそっこのけで、都合の良いように議会運営しているように思い不満。	3.削減すべき	市の規模からして24人は多すぎる。議員報酬やその他のコストを市民に還元すべき。
36	3. 不満	生駒市議会での活動が市民全体に伝わっていないと思う。署名していたのに全く前に進んでいないことに不満を感じる。	3.削減すべき	現在の活動内容では議員人数が多すぎると思う。多少減らしても活動内容が変わるとは思えない。
37	3. 不満	パブリックコメントの資料は内容が難しすぎてわからなかった。私たちにもっとわかりやすい資料にして欲しい。	3.削減すべき	減らすことによってサービスが低下するなら困るが今市議会は、2名欠員で運営しているので何ら支障はないと思う。他市も定数を減らしているから生駒市も減らせば良い。
38	3. 不満	何をしているかわからない議員が多い。したがって議員数が多いのではないか。	3.削減すべき	活動力がある議員のみで何をしているかわからない様な議員は不要。
39	3. 不満	何をしているか私たちに伝わっていない。人数だけが多い様思う。	3.削減すべき	議員の人数が減ったことによって何の支障が有るのでしょうか。人数が多いだけで何も出来ていない様に思う何か我々にメリットが有るのか分からないことばかり。
40	3. 不満	市民の声を聞いていない。議会の中だけで決めている。	3.削減すべき	税金の無駄使い。
41	3. 不満	市議会の活動がわからない	3.削減すべき	人数が多すぎる
42	3. 不満	パブコメに関する資料がむずかしすぎて、市民に対する説明になっていない。もっとメリット・デメリットの分かる説明をすべきだと思う。	3.削減すべき	22人でも市民の意見は反映するに足る人数だと思う。署名でも削減について多く数が集まったと聞いた。今こそ市民の声に耳を傾けるべき。
43	3. 不満	市民の意見が市政に反映されるなら定数削減に積極的にとりくむ議会となるようお願いします。	3.削減すべき	4000以上の署名が集まったのだから議会のあり方について見直すべきだと思います。2つ減らすくらいで議会の機能しないとは考えられません。
44	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
45	3. 不満	市民の声を聞いていない。もっと市民の声を反映してほしい。	3.削減すべき	2回目の直接請求で4000以上の署名が集まったにもかかわらず反映されていない。今こそ議員定数削減すべきです。
46	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
47	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
48	3. 不満	市民より選ばれた議員であるのもっと生駒市の未来のことを考えて行動(活動)してほしい	3.削減すべき	今後人口が少なくなっていくのと、福祉・医療費などが増額して行くので、予算も少なくなってくる。議員定数は削減すべき。
49	3. 不満	生駒市民の意見をもっと聞いてほしい。議会の中でだけ働いているように思う。	3.削減すべき	2議席減らすくらいで運営できないのは疑問。市議の資質をあげればどうですか。

NO	問1	問2	問3	問4
50	3. 不満	資料等一般人には内容が難しすぎる。理解しやすいものにするべき。	3.削減すべき	人口が減っていて、他の自治体も削減している。生駒も市民から信頼される様な取組が必要と考える。
51	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
52	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
53	3. 不満	市議会の活動状況に透明性がなく。市民の意見が反映されているとはいえない。	3.削減すべき	他市町村の削減状況に鑑み生駒市削減すべきである。
54	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
55	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	議員定数を減らして子ども教育に活力して下さい。
56	3. 不満	市政に反映する行動にあまりお目にかかれません。政策ももっと建設的なものが欲しい。	3.削減すべき	市議としての活動に今の人数は必要ないと思います。
57	3. 不満	市民の意見をもっと聞いてほしい。	3.削減すべき	議員が多すぎる
58	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	議員が多くても、意見や発表をしない活動をしない議員を少なくしてほしい。
59	3. 不満	議員定数削減の署名活動後の対応が遅い。	3.削減すべき	削減しそのお金で子育て支援に役立ててほしい。小学校の英語教育、パソコン授業の充実
60	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
61	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
62	3. 不満	物事の進行が遅いと思います。	3.削減すべき	ほんの2名減ったぐらいで市政の進行に影響が出るとは思われない。
63	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
64	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
65	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
66	3. 不満	市民の声が届かず、軽視している	3.削減すべき	多くの自治体も人口減少の中、議員定数を削減している。
67	3. 不満	市民の声が届いていない。議会の中で勝手に動いている気がする。	3.削減すべき	せっかくたくさんの方の市民の声(署名)が集まったのになぜ実現までに時間がかかるのか分からない。定数を減らして、スリムに運営すべきだと思う。
68	3. 不満	過去にも定数削減を求める直接請求があった。今回も多くの署名が集まり私たちの意見が本当に市政に反映される議会であれば、今回こそ積極的に取り組む議会になるように期待する。	3.削減すべき	2減くらいで運営できないなら議会の資質があまりにも低いのではないか。
69	3. 不満	定数削減に否定的な議員がいる様で市民のために活動する様をお願いしたい。	3.削減すべき	議員の質次第で削減しても充分やっつけていけるはず、他の都市もモデルとなって気概を持ってもらいたい。市の財政の悪化が不安である。

NO	問1	問2	問3	問4
70	3. 不満	・活動報告は難しい言葉ばかりでわかりにくい。 ・毎年同じ報告ばかりに思える。 ・今年は何をしたのか(実行)何をしなかったのか(見直し)わかりやすく説明してほしい。	3.削減すべき	・議員定数削減は時代の流れにしてほしい。 ・削減に署名したので、実現してほしい。 ・会派の意向が強いのか、議員の顔が同じに見えてしまう。そんな議員は必要なし。
71	3. 不満	議員定数についての書名活動後の対応が遅すぎる。	3.削減すべき	子育て支援福祉に充てほしい。
72	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
73	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
74	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
75	3. 不満	私たちの声が市に反映されていない	3.削減すべき	署名したので、是非削減してほしい。私たちの声をしっかり聞いてほしい。
76	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
77	3. 不満	個々の議員の皆様の活動が見えてこない。市民のための市政活動を希望する。	3.削減すべき	活動や行動が見えてこない。定数を削減しても良いのでは。一度22人の定数にて活動されて、様子や行動管理をしっかり把握しても良いと思います。何をされているか、今の動きはわかりません。
78	3. 不満	私たちが見る資料なので、もっと分かりやすく作成してほしい。	3.削減すべき	議員さんが何をしているか見えてこない。
79	3. 不満	私たちの意見が今の生駒の市政に反映されていないように思います。	3.削減すべき	議会に出ていない人もいと聞いたことがあります。仕事をしていらっしゃるのに、議員をされているのは疑問に思います。
80	3. 不満	我々の意見が、市政に反映されていないと思う。	3.削減すべき	議員活動をせずに、報酬を得ている人がいる。議員報酬を主たる収入としている。
81	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
82	3. 不満	市民の意見が市政に反映されていないように感じます。	3.削減すべき	仕事がない議員もいと聞いたので、その人に報酬が支払われているのに疑問を感じます。
83	3. 不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
84	3. 不満	市民のことを考えてほしい。	3.削減すべき	議員数を減らし、市民のために頑張ってほしい。
85	3. 不満	優秀な若い人、女性に門戸を開いてほしい。古い体質体制が変わっていない。	3.削減すべき	小中学校にエアコンがついていない。他県に比べ大変遅れている。生駒市も人口が減りつつあるのに議員を削減し、少しでも教育に関する予算を増やすべきである。65歳議員定年制を決めるべきである。若い優秀な人材に活躍してほしい。奈良県の他市・他県も議員削減を進めている。
86	3. 不満	市長交代後、イベントが増えたぐらいで、大きな新規事業、政策変更はなく、議会が監視機能を発揮する場面はほぼない状況だが、急速に進む高齢化への対応(高齢者交通費助成制度など)や学研高山第2工区など市の将来に大きく関わる問題で、政策提言が十分とは言えない。	3.削減すべき	定数は18。6人ずつの3常任委員会に集約すればいいと思う。多様で優秀な人材を集めるため、定数減分を原資とし、議員報酬は上げるべきだと考える。【理由】法政大の廣瀬教授の議論にはほぼ同意する。原則的に議員は少し多ぐらいがよく、報酬は下げないほうが良いと考える。しかし、人口減少、急速な高齢化に伴い、活力が低下し、多様性が失われつつある生駒市の現状を踏まえた上で、活発に議論し、政策提言しているとはとても言えない議会の状況から、「定数24」は多いと感じる。類似自治体等との比較ではなく、純粋な実感として。一例を挙げると、高齢者交通費助成制度は「この街をどうするのか」を考える象徴的な問題だが、投票率が高い高齢者に関わる問題のため、自分の選挙を意識して、議員がまともな議論ができない。今後、ますますその傾向が強まると見られ、合わせて議員の多様性も失われると思われる。議員を現行の4分の3にしても、多様な市民の声を反映させる面で大きな支障はない。一方、議員になる側の多様性を高めるため、男女、未婚結婚等を問わず、特に20～40代の優秀な人材が議会の仕事に魅力を感じられるよう、報酬を上げるべきだ。議員6人減らす分を全て報酬増に回してもいいと考える。現状の月50万円をせめて60万円に増やしてほしい。最低限、8年前の報酬減の前の水準に戻すことを考えてほしい。

NO	問1	問2	問3	問4
87	3. 不満	<p>議員の任務は「人間の安全保障」をひとりの市民として、選んでくださった市民の皆様に担保するものです。それができない議員は、議員としての価値は全くありません。議員としての存在理由は、すべての議案審議において真剣で深い洞察力が要求されます。その為に、議員の報酬は1会期ごとに、約170万円の金額を税収からして市民が支出して、行政庁やや、議員や、今回のように直接請求で提出された議案の審議を市民が、議員に付託しています。わたしが見ているかぎり、議案の審議は、市が提出した都合のいい説明書資料をさらっと検討することで、審議を終わり、行政庁側に平易に賛同しているようです。カッターボートに例えるならば、24人で漕いでいると信じていた漕ぎ手の内9人が力を入れていなくてもボート自体は、前に進みます。22人でやれるものは22人でやればよい。20人でやれるものなら20人でやればよい。それだけのことです。わたしは、18年前結、崎にある県営プールの駐車場誘導係をしていました。当時13名でしていた誘導警備員は、今、ひとりもいません。それで問題なく回っているということです。廣瀬先生の意見は、極論です。2名の定数削減で、どうして、そして誰もいなくなった、の結論が導かれるのでしょうか。さらに、米国の議員制度に言及しては、ひとりの議員に7名の職員がいるといったことも、現実をみてもものを言っているのでしょうか。投資信託で3000億円以上を運用するファンドマネージャーでも専属のアナリストは3名程度です。一人の市会議員に7名もの秘書まがいの職員をつける程の仕事を、皆さん議員はしているのでしょうか。自分の胸に手をあてて自らの内なる声を聴いてください。定数削減反対を標榜する学者の意見の他に、定数削減賛成の自説をもつ学者の意見も聴かなければ、バランスを欠いたものだと思っています。奈良県会議員でさえ、今回生駒郡区で1名の定数削減を敢行しました。実質労働人口が減少してゆくなかで、今までと同じ質と量の行政サービスを受けることはできない時代に突入しています。すべての部門に亘って改革を続けていかなければ、将来を乗り切れない時代になっています。民生委員について言及します。本日の台風12号直下でも民生委員の方々は、夜中に避難所開設で尽力されました。民生委員の任期を通じて、ささやかな通信費以外無休で、大変な仕事をされています。民生委員法に、「民生委員は無給とする」と明記しています。一軒一軒の家を丹念にまわり、地域の市民にとって何が障害で、問題になっているのかを把握していっています。市会議員</p>	3.削減すべき	22名でやっていけるからです。

各位は、これほど丹念に市民と接しているのでしょうか。答えは、否です。それほどの信頼性はありません。何度も繰り返しますが、「人間の安全保障」を担えない議員は必要ありません。廣瀬氏は、優秀な議員だけになって、おもしろくない議会になってしまうと、言われました。多様な議員層の中から、富山県議や酒井議員ができました。優秀で面白くない議員だけになってどこが悪いのでしょうか。ひとりひとりの市民の安全保障を真剣に考える。それだけで十分です。今回、定数削減の議案を議会が否決されるようなら、来年の統一地方議員選挙前に、削減反対議員の通信簿を作成して、報酬、定数ともに市民認識を喚起してゆきます。そして、再度、直接請求に挑みます。さらに、市民投票まで持ち込む計画でいます。直接請求は市民の寄付でしています。汗も金も使っています。引きません。

NO	問1	問2	問3	問4
88	3. 不満	一月のうち議員として仕事に専念する時間が短すぎる そのくせ報酬は凄く多い自給換算すると馬鹿げた金額になる	3.削減すべき	現状22名で十分にまわっている 一人の議員が具体的にどのような活動をしているか全く不明であり何故24名必要なのかの説得性が皆無！ 大学教授など招いて公演しているが内容は議会側立場の援護ばかり 公演料を市民税から支払っているなら憤慨です 議員各自が自己負担すべき！
89	3. 不満	市民の代表である議員が、市民の意見を吸い上げる努力をしていない。その意味で議員・議会の存在そのものが必要でないと思う。議会廃止は法的に不可能であれば先ずは議員の削減を実施すべきと考える。市政は、市長を選挙で選んでいるので市民の意見は市長が代行して政治を行っており、市長任期中は市長の政治に任せ、その市長の政治が悪ければ、任期が来た時点で選挙で交代させれば良い。とにかく今の議会活動では議会・議員は不要。	3.削減すべき	議会・議員不要と考えるので、とにかく議員は削減していくべき
90	3. 不満	1、市議会議員が市民のために積極的に活動している姿が見えてこない。2、自治会長他、役員の方が余程か市民に身近で役に立っていると思う。3、二元代表制を謳う市議会が、どうして厚生年金への加盟推進議案に賛成したのか、全く理解できない。厚生年金は、雇用されている者が雇用主にかける保険です。市長が雇用主で、各市会議員は市長に雇用されている形を容認するのでしょうか。税理士、会計士、司法書士、行政書士、弁護士、土地家屋調査士等々のみなさんは、国民年金に加入して、より多くを望む方は国民年金基金に加入したり、任意で積み立て型の投資信託にはいっています。議員が厚生年金加入を望むことは、市民への税金負担を顧みない行為だと思います。ばかなことです。4、議員は基本的に無報酬の奉仕行為であるべきです。5、充分にあたえられた時間を、市民のためにしっかりと使っている議員は少ないと思っています。	3.削減すべき	今の議員なら16名いれば十分だと思います。議員がいなくても問題はないとも思います。チェック機能なんて、最初からありませんから。

NO	問1	問2	問3	問4
91	4. やや不満	<p>ゴミ問題など、市民生活に重要な影響のある案件を、市民からは遠い審議会等で審議し、その審議の途中での市民の声を反映させないばかりか、有料化を決定した後に「有料化の説明会」を開き、それも不十分な回数で、その場で反対意見を言っても「有料化をどう進めるか」の説明がしないという、やり方をしました。市議会での論議でも、前の市長をはじめとしてスローガンとしては「半減計画」を掲げ、論議の中では削減のめどとして25%から30%と答弁するなど、科学的根拠のない、政治的判断の内容でした。こうした時、市議会は本当にチェックしたのかと疑問をもたざるを得ませんでした。これからも、市民に多大な影響のある問題について、市議会のチェック機能と市民の声を反映させる審議が重要だと考えます。多数の説明会を開いた市もあり、結果がどうであれ、そうした姿勢が求められています。議員定数削減の請願書は、そうしたことは全く触れず、単に議員の数を減らせれば、市民のためになるなどと言うのは、真剣に市民の声を反映する市議会運営、市政運営を考えているとは思えません。議員は、十分な調査による丁寧な審議と、そのために市民の声を聞く努力こそが求められていると思います。その活動を積極的に市民に発信することだと思います。この意見書についても、ホームページの作りでは、提出方法について、一目でわかるようには書かれていません。提出する者の立場で作られていないと思います。マイサポのように集めるための対応も必要です。</p>	2.現状維持	<p>「議員定数の削減に関する請願書」を読むと、「行革はいいこと」「削減はいいこと」と言うだけで、「何のために何をどうする」という理由は全く見られません。「削減を目的化している」としか思えません。これでは、多くしようが減らそうが、何の役にも立ちません。一番肝心なことは、「市議会と議員の活動が、市民の声を反映しているか、そのためにさまざまな取り組みをしているか」ということと、「様々な市当局の議案に対して、その調査能力を生かして、論議し、チェックできているか」さらに「市民のための提案が出来るか」で、議会改革を進めることです。そのための「請願」でなければなりません。</p> <p>定数に関して言えば、「生駒市政になり人口が増えても定数が同じ」というのは、実質的に定数削減されたものです。他市との比較も、面積も人口も年齢構成も、当然市民の行政に対する要望も違います。ある行政区では「議員のなり手がなく、住民による協議会で行政を行う」という所さえ出ています。その地域の事情で、そうした方法をとる決断をしたということです。そのようにその地域の事情を考えずに、単純に議員数だけを比較するのは、論立てが間違っています。たとえ人口と財政状況が同じという所があったとしても、決めるのは議会の役割が出来るかどうかをそれぞれで考えて、市民的納得が出来る所で考えるものでしょう。その意味で、市民的利益を第一に考えるべきでしょう。</p> <p>議会で取り上げてほしい課題はたくさんあります。高齢者の生活の足の問題、生活保護世帯の問題、介護制度の問題、障害者の問題など、今の市政で行き届かない問題がたくさんあります。問題は、今の議員がそうした声を聞いているのか、取り上げようとしているのか、ということです。また若者が働きやすい、住みやすい環境かどうか、子育て世代が働くことと子育て環境がどうなっているのかなども、常に関心を持ち、市議会で取り上げているかどうかも大事です。そうした観点で議会活動を常に見直していくことこそ議員の役割でしょう。そうしたことに市民の目が届くよう情報発信することが大事だと思います。</p> <p>教科用図書採択の問題でも、市政だよりも本当に小さく「教科書展示の案内」が載り、展示場所の図書館の自習室では、土・日は子どもたちがたくさん来るので、別室をわざわざ借りて見なければなりません。市民がいつでもゆとり教科書を見る環境ではありません。また採択の臨時教育委員会の傍聴案内は、わずか1週間前にホームページに載るだけです。「教科書採択を市民の目で」という仕組みにはなっていません。要望してもここ数年でも改善されていません。そのようなことを議員さんは知っておられるのでしょうか。市民参加の市政をときには強調されていますが、このようなチェックはされていないように感じます。もちろん市民の我々もつと声を出し、届ける努力が必要だと思いますが、それが定数のせいだとすると「議員が足りない」ということでしょうか。そうではないと思います。中身もなくいつまでも「行革だ」「削減だ」「民間委託だ」と叫ばないでほしい。</p>

NO	問1	問2	問3	問4
92	4. やや不満	1、各議員の年間の活動、例えば立条例の提案内容、件数が不明 2、平素の地元での意見の吸い上げ活動が不明。全議員の中で活動報告が出ているのはわずか。選挙前にはよく出るが。	2.現状維持	今の活動内容では増やしても一緒。
93	4. やや不満	表面的な細かな事柄にとらわれすぎて、おおもとの根っこについてしっかりと議論して欲しい。目先のことより10年20年先を見据えて行動してほしい。市民の意見を反映するだけでなく、市民の意識を変えるぐらいの熱意をもってやってほしい。	2.現状維持	削減する理由が見当たらない。専門性を有する事柄もあり安易に削減に同意できない。削減するとしても結果は20～30年先にしかわからないので一時的な定数削減で様子を見るべき。
94	4. やや不満	★ 県立高統廃合計画に賛成したことは納得できない★ かつて「ゴミの有料化」の折、議員や議員立候補予定者にアンケートをお願いしたが、アンケートの回答とその後の言動が異なった方がおられた。残念。	2.現状維持	7月23日の研修資料を読ませていただいた。これらのデータを参考にと、削減すべき理由が分からない。近年、国会、地方議会などの「定数削減」を公約にする方が多いが、私には「人気取り」のように感じられる。勿論、無駄な費用は省くべきだが、民主主義制度における議員の役割りは重要である。然るに、研修、先見性、努力、政策提案能力、などなどを得るための、それなりの報酬及び市民の意見を集約する人数は必要である。再度述べるが、議員の「質」の問題であり、単純に「定数削減」すべきではないと考えます。素人の発想で生意気なことを記しました。ご容赦下さい。
95	4. やや不満	古い体質があるのか、勘違いしているのか威張っている、市民不在のまままで議決してきるように思う。	3.削減すべき	全国的に議員が減らす傾向にある。人口が少ない生駒市では、もっと議員を減らして税を市民に老人福祉、将来の青少年の育成に使うべき。賢い人が少なくとも、仕事を誠実にしたら充分市政は良くなる。世の中の流れを見よ。
96	4. やや不満	市議会の活動で、特に市民意見を把握し市政に反映する面で見えにくい。現に猛暑の続く中、新聞報道で学校のクーラー設置率が全国的にも低い奈良県の中でも生駒市が更に低い集と知り、子どもの命に係わることであり大変驚いています。議員の方々が日頃から市民に密着した活動する事で、このような問題を早期に察知して議会に反映させ予算化が出来る様望みます。(その後、来年までには生駒の小中学校にはクーラーが設置されるようになったようですが)	3.削減すべき	奈良県下でも多くの市町村が議員定数削減に取り組んでいます。生駒市は、長年に渡り現定数24名であるが、議員の病気や事故等で議員数は22名の時があったが、支障なく議会運営が出来ていた経緯もあり、今後の少子高齢化・人口減少を考慮して、議員定数22名に削減を希望します。又、若い議員の活動の場を広げるためにも「議員75歳定年制」を導入して、議会の改革を図り、関西一住みやすい生駒市の実現を望みます。
97	4. やや不満	記入なし	3.削減すべき	我が身を顧みず定数にこだわる姿に驚きと嫌味を感じる。
98	4. やや不満	1.「議会基本条例」立案以降議会改革の姿勢が見えない 2. 議員参画の各委員会での活動・提案が充分市政に反映されていると市民には見えない。	3.削減すべき	①今後人口減少してゆくの、各自自治体も議員減少に動いている。生駒市も山下市政のとき、職員数を減らしたが議員は当時のまま減っていない。 ②近隣他生駒市と同規模の自治体も議員定数を減らしている。奈良県の県会議員も一名減にしている。 ③生駒市では、塩見議員が不在、久保議員も休養(長期)現在22名で充分機能している。
99	4. やや不満	議員定数削減の署名がたくさん集まったのに市政に反映されないのが不満です。	3.削減すべき	2人分削減するだけなら、すぐ実現してほしい。

NO	問1	問2	問3	問4
100	4. やや不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
101	4. やや不満	記入なし	3.削減すべき	記入なし
102	4. やや不満	行政から提出された議案を議論するのが主な仕事で市民の現場から吸い上げた意見を纏め建設的な議案として行政とともに議論検討されているのか疑問がある。市会議員個人々人の当事者能力は、又、問題意識は大丈夫でしょうか？	3.削減すべき	人口減、高齢化により市財政は確実に悪化していくという危機感のもと社会福祉面の市民負担増はある程度避けられないと理解するが、行政と議会は効率アップや経費節減の努力をされていますか？市議会議員数が全国的に見て多すぎず、少なすぎずとのことだが20名程度で回すためにどうすれば良いのかを全国にさきかけ検討し実行されては如何か？
103	4. やや不満	年俸1000万円近く受領しているだけの動きが見えない。選挙前に急遽活動するのではなく、世のため人のため地域のために市民を代表して誠心誠意取り組んで欲しい。	3.削減すべき	少子高齢化の波が他都市以上のスピードで進むことが決定的な生駒市であり、エアコン設置等すぐに必要な費用も控え、議員数にこだわる必要は無く削減すべし。4名減の20名でも生駒市議会活動に支障があるとは思われない。住宅都市ならではの、定年後の優秀な市民活動にてフォローできるものと感じる。
104	5. わからない	質問が漠然とし過ぎ、論点が示されていない。	3.削減すべき	市議会提出の資料を全て拝読いたしました。論点を理解するに足る情報は、一切見当たらない。このような事務的記録文書だけを市民に配布し、パブリックコメントを実施しようとする事務方の悪意が見え隠れする。きちんと論点のわかる情報公示をして下さい。パブリックコメントの実施方法が最悪。とにかく市長は、他の議員よりマシンと思う。
105	5. わからない	今、現在、活動されている方のお話を聞いていて監視が行われたと思うのですが、どこまで行き届いているのか、これからどうなるのか、まではわからないなと思ったから。	3.削減すべき	わからないながらもすぐに想像がつく。試験的に減らしてみても良いと思う。その分を別の形にして市民のために税金を使ってほしい。
106	5. わからない	現状を考えず定数維持のみにこだわる理由がわからない。	4.わからない	記入なし